

平塚市福祉会館の設置及び管理等に関する条例第17条第2項に規定する、
あらかじめ市長が定める基準

令和元年6月27日

(趣旨)

第1条 この内規は、平塚市福祉会館の設置及び管理等に関する条例第17条第2項に規定するあらかじめ市長が定める基準に関して、必要な事項を定めるものとする。

(市長が特に認めるもの)

第2条 平塚市福祉会館の設置及び管理等に関する条例第17条第2項に規定するあらかじめ市長が定める基準は、以下の通りとする。

- (1) 本市が直接利用するときは免除とする。
- (2) 指定管理者が施設の設置目的の達成のために直接利用するときは免除とする。
- (3) 児童福祉法及び知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)に基づき、知的障害者の判定を受け、療育手帳の交付を受けている者及びその介護者は免除とする。
- (4) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に基づき、身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者は免除とする。
- (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に基づき、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者は免除とする。
- (6) 市長が特に必要と認めるときは免除とする。

(免除資格の証明)

第3条 前条各号の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、あらかじめ免除の理由を証するため、公的な機関により発行される証明書その他確認ができるものを係員に提示しなければならない。

(その他)

第4条 この基準に定めるもののほか必要な事項は、その都度市長が定める。

附 則

この基準は、令和2年4月1日から施行する。